

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	産学官連携による地理空間情報高度活用の推進		<b>担当部局庁</b>	国土政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H20～		<b>担当課室</b>	国土情報課		課長 橋本 裕治		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	10 国土の総合的な利用、整備及び保全、国土に関する情報の整備 38 国土の位置・形状を定めるための調査及び地理空間情報の整備・活用を推進する				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	地理空間情報活用推進基本法		<b>関係する計画、通知等</b>	地理空間情報活用推進基本計画(H24年3月27日閣議決定)				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	地理空間情報活用推進基本法(平成19年法律第63号、以下「基本法」という)ならびに同法に基づく地理空間情報活用推進基本計画(平成24年3月27日閣議決定、以下「基本計画」という)及び地理空間情報の活用推進に関する行動計画(G空間行動プラン)(平成24年10月31日地理空間情報活用推進会議幹事会決定)に基づき、産学官の連携による地理空間情報の高度活用の推進・普及を図る。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	地理空間情報の普及啓発のため、産学官連携で地理空間情報及びGISの利活用に関するシンポジウム、新商品・新サービスの紹介等を行う「G空間EXPO2012」(平成24年6月21～23日)に出展するとともに、東北圏、北陸及び中部圏、近畿圏、中国及び四国圏の4ブロックにおいて、地理空間情報に係る産学官連携による情報交換会等を開催する。 また、地方公共団体の人材を育成するための研修プログラム及びテキストの作成、試行・評価を行うとともに、地理空間情報を活用したサービスモデルの構築と展開に向けて地理空間情報を活用したサービスの試行を行い、課題とその解決策の検証を行う。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算状況	当初予算	76	100	85	69	310	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	76	100	85	69	310	
		執行額	66	100	81	-	-	
	執行率(%)	87%	100%	96%	-	-		
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(26年度)	
	地理空間情報ライブラリーの運用(国・地方公共団体の地理空間情報ライブラリー利用数)		成果実績	件/年	-	0	145	24,000
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	①地方公共団体向けGIS高度活用人材育成プログラム及びテキストの作成 ②G空間EXPO及び地方ブロックにおける地理空間情報に係る産学官連携による情報交換会の実施 ③3つのサービス分野における事業モデルの実施		活動実績(当初見込み)	②G空間EXPOに出展(来場者36,819人)	①防災に関するプログラムを作成、全国2箇所で開催(参加者42人) ②4ブロックで地理空間情報に係る産学官連携による情報交換会を実施 ③三つのモデル事業を実施	①まちづくり・福祉に関するプログラムを作成、全国2箇所で開催(来場者18,143人)・4ブロックで地理空間情報に係る産学官連携による情報交換会を実施 ③三つのモデル事業を実施	-	
<b>単位当たりコスト</b>	各アウトプット作成に向けた1件あたり支出額 ①8(百万円/研修件数) ②1.6(百万円/出展・開催件数) ③17(百万円/事業件数)		算出根拠	①地方公共団体における地理空間情報の高度活用促進に関する検討の支出額:16百万円/研修件数:全国2箇所 ②G空間EXPO2012、産学官連携強化のための情報交換会等の実施の支出額:8百万円/出展・開催数:5件 ③三モデル事業(観光・安全安心・地域活性化)実施の支出額:50百万円/事業件数:3件				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	1	1	新たに防災・減災や地域活性化等に資する地理空間情報の整備・活用を効果的に推進するための実証事業を行うため。  「新しい日本のための優先課題推進枠」250				
	地理空間情報整備・活用推進調査費	68	309					
計	69	310						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	基本法・基本計画において、産学官連携による地理空間情報の高度活用を推進すべきと位置づけられており、国も産・学と連携して実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	企画競争による調査業務については、有識者による企画競争委員会における審議を経て委託先を選定している。 定型的な業務については、業務の性質に応じて一般競争入札を実施し、コスト削減や競争性の確保に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	約2万人が来場するG空間EXPO2012への出展、地方における情報交換会、人材育成プログラムの実施等により効果的な普及啓発が図られており、成果は国土交通省HPより一般提供することで広く活用されている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示会の運営管理等定型的な業務については、引き続き一般競争入札により発注を行い、コスト削減や競争性の確保に努める。</li> <li>人材育成プログラムの作成や地理空間情報を活用したモデル事業の実施にあたっては、今後もより一層汎用性のある効果的な成果を引き出すために、効果的なテーマ設定や調査テーマの重点化等の取組を継続する。</li> <li>G空間EXPO出展や情報交換会の実施にあたっては、より効率的・効果的に実施できるよう、展示内容・開催手法等について不断の見直しを行う。</li> </ul>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
抜本的な改善	地理空間情報を活用したモデル事業については事業目的を達成したため廃止するとともに、地域活性化や防災・減災等に資する地理空間情報の整備・活用の効果的な仕組みについて見直しを行う。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	地理空間情報を活用したモデル事業については廃止し、地理空間情報を活用した先導的なプロジェクトの実証により、課題解決の具体方策やノウハウを取りまとめ、事業の成功モデルを全国に普及促進するため、新たに防災・減災や地域活性化等に資する地理空間情報の整備・活用を効果的に推進するための実証事業を行う。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	105	平成23年	82	平成24年	95

国土交通省  
81百万円

本業務の企画・立案、進捗管理・指導、産学官における推進体制の構築・調整

B.事務費  
0.9百万円

職員旅費

【一般競争入札・企画競争・少額随契】

A.民間企業等  
(8社)  
80百万円

基礎調査(事例収集、ヒアリング調査等)、検証の実施、有識者による委員会の運営 等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万  
円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務原価等	直接人件費等業務原価及び一般管理費	31			
税	消費税	2			
計		32	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	地方公共団体における地理空間情報の高度活用促進に関する業務	16	2	—
		観光等地域資源情報の整備・発信プロジェクト検討業務	16	6	—
2	(株)野村総合研究所	地理空間情報を活用した安全安心・生活支援プロジェクト検討業務	18	3	—
3	国際航業(株)	地域情報の共有・活用による地域活性化プロジェクト検討業務	16	2	—
4	(株)オーエムシー	G空間EXPO2012における展示会の運営・管理業務	3	9	47%
		G空間EXPO2012におけるシンポジウムの運営・管理業務	1	9	33%
5	(株)価値総合研究所	今後のG空間EXPO開催のあり方についての検討等業務	4	2	75%
6	(株)テイコク	地理空間情報に係る産学官連携強化のための情報交換会実施業務	4	2	42%
7	(株)ネクストパブリッシング	GISパンフレット印刷	1	少額随契	—
		初等中等教育向けGIS研修プログラムリーフレット作成業務	0	少額随契	—
8	(株)シー・エヌ・エス	「G空間EXPO」の継続的な開催に向けての実行可能性調査等業務	1	少額随契	—